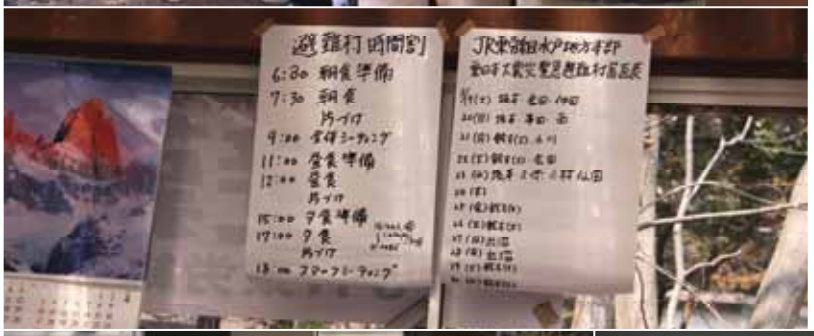
速報　ＪＲ総連緊急対策本部情報
ＪＲ総連 東北地方太平洋沖地震 緊急対策本部情報
2011年３月25日
23：00発行　№20
発行：全日本鉄道労働組合総連合会

頑張ろう！被災者のみなさん。

「避難村」開設！

ＪＲ東労組水戸地本

支援行動レポートvol. 8



ＪＲ総連は３月 25 日、「水戸地本避難村」へ支援物資を届けました。この「避難村」は、地震による被災者を受け入れようと、ＪＲ東労組水戸地本が茨城県つくば市内のキャンプ場に開設したものです。25 日現在、６家族 23 名が、まだストーブが必要なほどの寒さの中でも力を合わせ、避難生活を送っています。ＪＲ総連が運んだ食糧や衣類などの支援物資は、早速、「村民」に配布されました。

この日、大澗法対部長と山田国際部長は、引き続き水戸地本へ物資を届けるため、水戸市内へと車を走らせました。

震災からすでに２週間が経過し、被害の大きかった福島県沿岸部の地域のスーパーやコンビニエンスストアでも徐々に営業が始まりつつあります。しかし、物資の不足は相変らず続いています。そうした中で、組合員や家族をはじめ、被災された皆さんの多くは、いまだに困難な状況の下での生活を余儀なくされています。さらに、原発事故による放射能汚染の広がりも懸念され、不安も増しています。

水戸地本は苦しい中でも、組合員の避難場所の確認や支援物資の配布、職場への激励、役員との連絡や打ち合わせなどを精力的におこなっています。

ＪＲ総連はこれからも、各単組との連携を密にしながら、被災された皆さんへの支援活動を継続していきます。

【写真上から】
避難村にて／厨房に張られたスケジュール。ルールを守って共同生活／届けた物資を運びます／ＪＲ総連から派遣物資の積み込み